

事業計画書及び収支見積書（破砕業）

年 月 日

住 所

氏 名

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

年 月 日現在作成

1-1 事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

(フロー概略図を添付)					
業務時間	: ~ :	従業員数	人	休業日	

1-2 解体自動車等の引取実績及び計画

年 度	__年度実績 (3年前)	__年度実績 (2年前)	__年度実績 (1年前)	許可取得後の 年 間 計 画
引取台数	台	台	台	台
主な引取先				

1-3 破砕実績

年 度	__年度実績 (3年前)	__年度実績 (2年前)	__年度実績 (1年前)	許可取得後の 年 間 計 画
年間処理実績	台	台	台	台
年間稼働日数	日	日	日	日
平均処理実績	台/日	台/日	台/日	台/日

1-4 破砕等能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
台/日	日	台

1-5 保管の状況

解体自動車		ASR	
保管量の上限	台 (m <sup>3</sup> )	保管量の上限	m <sup>3</sup>
現在保管量	台 (m <sup>3</sup> )	現在保管量	m <sup>3</sup>

1-6 年間収支見積書

年 月 日現在作成

項目		前年度 ( 年) (決算月 ( 月))		今年度の見込み (決算月 ( 月))	
		年度 (千円)	(1台当) (円)	年度 (千円)	(1台当) (円)
売上高 (全体)	ア (総売上収入)				
売上原価	イ (使用済自動車等購入費)				
その他の経費	ウ				
うち廃棄物処理委託費	エ				
営業利益	オ=ア-イ-ウ				
営業外損益	カ (主に支払利息 (注))				
経常利益	キ=オ+カ				
使用済自動車等年間引取台数					
使用済自動車等年間処理台数					

(参考)

	前年度末	現在
負債総額 (年度末残高) (千円)		

(注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。

2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。

3 前年度の欄は、前年度の決算書 (損益計算書、貸借対照表) を提出すれば記入を省略できる。

住 所

氏 名

（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）

年 月 日現在作成

2-1 大量に保管している解体自動車等の処理計画

保管量上限を超過している廃棄物の種類 （すべて記載）（注）									
保管量上限を超過している廃棄物の搬出 の方法									
搬出先の所在地及び名称									
搬出先での処理の方法									
年間搬出予定量(種類別)									
過去 1 年間の年間搬出実績 （種類別）									
改善完了予定年月日	年 月 日								
改善に係る予定費用	<table border="0"> <tr> <td>搬出費用</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>処分費用</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>販売費用</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>円</td> </tr> </table>	搬出費用	円	処分費用	円	販売費用	円	計	円
搬出費用	円								
処分費用	円								
販売費用	円								
計	円								
改善に係る資金の調達先									

（注）使用済自動車、解体自動車以外の廃棄物がある場合には、その保管量も記入すること。

2-2 詳細収支見積書（許可取得後1年間）

I 総括表

	単位	
自動車破碎業による利益（Ⅱ表ア）	千円	
保管 ASR に係る処分費用（Ⅱ表イ）	千円	
差引	千円	
差引がマイナスの場合の対応 （上記が借入金の場合の借入先）		

II 利益の計算表

	単位	
有用部品売却益・有用金属売却益（1台当平均）A	円	
解体自動車等処分料金収入（1台当平均）B	円	
ASR等処分費（1台当平均）C	円	
破碎作業工賃及び一般管理費（1台当平均）C	円	
新規引取解体自動車年間処理台数 D	台	
新規引取解体自動車等利益 E = (A - B - C) * D	千円	
保管解体自動車年間処理台数 F	台	
保管解体自動車等利益 G = (A - C) * F	千円	
自動車破碎業による利益ア H = E + G	千円	
保管 ASR 等に係る処分費用イ I	千円	

III 単価（1台当平均）の算出方法

有用部品売却益→ⅡのAへ	
使用済自動車等引取料金→ⅡのBへ(注)	
破碎作業工賃及び一般管理費→ⅡのCへ	

(注) 1 処分料を徴収して引取することを想定しているが、解体自動車を買いつけている場合は、マイナスで計上する。

2 過去直近3年の決算書（個人の場合は所得税納税申告書及び納税証明書）を添付する。

2-2 詳細収支見積書（つづき）

詳細収支見積書附表

項目		直近期の実績 (千円)	単価 (円)	主な引取先 又は売却先	備考
収入	廃棄物収集運搬手数料				前年度輸送台数 ( ) 台
	解体自動車処分受託手数料 (注)				前年度受託実績 ( ) 台
	有用物・有用金属売却収入				※主な内訳下記 のとおり
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	ASR 引渡料金				前年度受託実績 ( ) 台
支出	解体自動車引取費用 (注)				前年度引取台数 ( ) 台
	廃棄物処分委託手数料 (計)				
	ASR				
	解体自動車				
	(種類)				
	(種類)				
	(種類)				
	(種類)				
	(種類)				
	その他の廃棄物				

(注) 1 決算書等の内容と実際の収入・支出の項目の対比について記入すること。

2 直近年について作成すること。

3 解体自動車を解体業者等から処分委託手数料等を徴収して引き取っている場合は収入欄に、解体自動車を買取っている場合は支出欄に記載すること。

2-3 資産に関する調書

年 月 日現在

資産の種別	内容	数量	価格、金額 (千円)
現金預金			
有価証券			
未収入金			
売掛金			
受取手形			
土地			
建物			
備品			
車輛			
その他			
資 産 計			
負債の種別	内容	数量	価格、金額 (千円)
長期借入金			
短期借入金			
未払金			
預り金			
前受金			
買掛金			
支払手形			
その他			
負 債 計			

(注) 前年度の決算書 (貸借対照表) を添付する場合は、作成不要。